

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令6年4月25日

公表: 令和6年5月1日

事業所名 クリア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	1	利用者の目的に合わせて場所を指定することで、安全に過ごせるように配慮している。	指導訓練室が広いため、隅々まで見切れない時があるため、職員のオペレーションをより緻密に考える。
	2	職員の配置数は適切である	14	1		職員間で希望休の調整を行ない、業務に支障が出ないように調整する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	7		玄関は小さな段差がありバリアフリーにはなっていないが、構造上段差を取り除くことができない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	4	毎日ミーティングや情報共有のほか、定期的に研修を行なっている。	より迅速で効率的な方法を考えていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	3		いただいたご意見、ご要望に対応できるように常に検討を行なっていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	4		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	13		第三者評価は実施していない。費用面で余裕があれば実施したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	0	外部の研修に参加するだけでなく、定期的に社内研修を行なっている。	社内研修の精度を上げていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	14	1	職員で話し合い、支援計画を作成、共有している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	3	担当日、担当者を決めてから担当チームで行なっている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	2	向上のため固定化しているものもある。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	13	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	15	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15	0	毎日昼礼行い、確認している。	学校休日の行ない方を課題として改善する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	2	毎日終礼行い、共有している。	より迅速で効率的な方法を考えていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	5		紙面記録では時間や場所の制約があったため、パソコンでデータを共有し記入することを導入した。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	15	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	15	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15	0	都度、適任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	15	0	保護者を通じて行なっている場合と、直接学校と行なっている場合とがある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	8		医療的ケア児の受入れは、現在行なっていないが、依頼があれば対応できる体制を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	12	3	サポートブック勉強会へ参加している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	12	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	4		今のところ、あまり機会に恵まれないが、機会があれば積極的に取り組んでいきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	15	0	ミニ四駆大会や地域の子ども食堂などに参加できるよう調整し、実施している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	14	1	海部南部自立支援協議会療育部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15	0	LINEや連絡帳を活用している。	職員の連絡帳記入の時間や負担を減らしつつ、保護者様との共有が適切にできる方法を考えていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	9		職員によりスキルの差があるため、常勤職員を中心に研修を行なっていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	1		職員によりスキルの差があるため、常勤職員を中心に研修を行なっていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	13		保護者会等の開催はトラブルが予想されるため実施しないが、連携希望者には対応している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	5	活動の様子(写真、動画)を都度直接個々に送っている。	
	35	個人情報に十分注意している	15	0		個人情報の利用範囲について再確認する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15	0	連絡帳、LINE、各アプリの活用をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	12	3		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	3		策定はされているが、周知徹底が及ばず、工夫が必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15	0	消防訓練、避難訓練を実施している。	災害時に行政や地域との連携が図れるような体制や仕組みも考えていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15	0	施設内に見守りカメラを設置した。	研修の内容の精度や頻度を上げていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	15	0	虐待防止委員会を中心となり、実施している。	適切な記録の精度を上げていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	2	食物アレルギーだけでなく、配慮が必要な場合は医師の指示書をいただいている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	3	毎日昼礼・終礼時に共有している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年4月1日

アンケート期間: 令和6年1月10日～令和6年1月31日

事業所名 クリア 保護者等数(児童数) 107名 回収数 85名 割合 79.4%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	74	2	1	8	掃除が行き届いているのか不安。	清掃と塩素消毒を毎日実施しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	54	8	1	22		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	32	4	4	45	・車椅子で出入口がスムーズにできるといいと思います。 ・更衣室の環境が心配。	クリア側出入口の段差は、尿水を防ぐもので、建物構造上削ることができません。スロープの設置も検討しましたが、シャッターが開閉しなくなってしまうため、防犯上断念しています。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	78	4	0	3		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	76	7	0	2		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25	9	6	45	難しいと思う。	夏休みなどの長期休暇中に近隣の民間の学童との交流の機会を設けています。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	72	10	0	3		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	77	8	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	62	15	5	3	以前は、直接対面での面談があったが、最近はなくなってしまったのでしょうか？	新型コロナウイルスや他の感染症の影響でできていないことがあります。情勢をみながら行なってまいります。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	11	26	39	父母の会の必要性を皆さんが求めているのでしょうか？	保護者様同士のトラブルが予想されるため、現段階では開催の予定はございません。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	63	8	1	13	苦情がないのでわかりません。	苦情があった際は、一部の職員だけでなく、非常勤も含め所属職員全体で考え、改善を図るよう努めています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	77	7	1	0	連絡帳を見ていない時がある。	連絡帳の物理的限界を踏まえ、代替の案を模索しています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	43	8	6	28	画像、動画などを送ってもらえて嬉しい。	画像、動画の配信は個別に対応していきます。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	62	7	0	16		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	41	13	5	26	もっとわかりやすくしてほしい。	冊子化の上、配布を検討しています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	52	4	1	28	もっとわかりやすくしてほしい。	年2回の避難訓練や、防災のイベント開催で、防災の意識を高めています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	77	6	1	1	職員の皆さんやお友達に会えるのを楽しみにしています。	
	18	事業所の支援に満足しているか	79	5	0	1	こんなにも子どもたちのことを考え、寄り添い、熱量が溢れている事業所はないと思う。	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。